

# 三省堂版準拠

高等学校  
国語総合  
現代文編 [改訂版]

# 学習課題ノート



ご採用  
見本  
ダイジェスト  
版

# 高等学校 国語総合 現代文編 「改訂版」 学習課題ノート

## 目次

※ダイジェスト版には、★の教材を収録していません

### 一 随想・評論

本を読むと路に迷う

朝吹真理子

ありのままの世界は見えない

田中真知

水の東西

山崎正和

### 二 小説

★羅生門

芥川龍之介 2

★予感

青山七恵 5

### 三 評論

ネットが崩す公私の境

黒崎政男

ものごとことば

鈴木孝夫

自然をめぐる合意の設計

関礼子

〈いま〉を読む

1 子ブタと未来

中村安希

2 生物と無生物のあいだ

福岡伸一

### 四 詩歌

鶯のうへ

三好達治

★死なない蝸

萩原朔太郎 8

★サフラン

新川和江 9

崖

石垣りん

その子二十——短歌二十一首

与謝野晶子ほか

いくたびも——俳句二十一句

正岡子規ほか

### 五 小説二

灰色の月

志賀直哉

待ち伏せ

ティム・オブライエン／村上春樹訳

### 六 評論二

余暇について

内山節

「もの」の科学から「こと」の科学へ

池田清彦

マルジャーナの知恵

岩井克人

〈いま〉を読む

★3 なぜ私たちは労働するのか

内田樹 10

4 夢は何語で見る？

多和田葉子

### 七 評論三

★グローバリゼーションの光と影

小熊英二 14

人として共感できるもの

橋本治

想像し物語ること

大江健三郎

### 八 小説三

富嶽百景

太宰治

夢十夜

夏目漱石

情報の「メタ」化

外山滋比古

見る—考える

大森荘蔵

美を求める心

小林秀雄

### 九 評論四







詩歌

死なない蛸<sup>たこ</sup> ●萩原朔太郎

教科書 P.80 ~ P.81

詩の理解を深めよう

- 1 次の文は、この詩の内容をまとめたものである。空欄を本文中の語句で補え。
  - ある水族館で飼われていた蛸は、人々に「<sup>①</sup>」られ、<sup>②</sup>「<sup>③</sup>」と思われていたが、死ななかつた。餌<sup>えさ</sup>がなくなると、その蛸は、まず自分の「<sup>④</sup>」を食べ始めた。それがなくなると、今度は「<sup>⑤</sup>」<sup>⑥</sup>を食いつくしてしまった。ある朝番人が水槽をのぞくと、水槽は空っぽになっていた。しかし「<sup>⑦</sup>」<sup>⑧</sup>をもった動物として、永遠に生きて居た。
- 2 この詩の形式を答えよ。


- 3 「けれども動物は死ななかつた」(80・6)とあるが、「蛸」ではなく「動物」という語句を使ったのは何を表現するためか。二十字以内で書け。
- 4 「どこにも餌<sup>えさ</sup>がなく、……他の一部から一部へ」と(81・1~4)から読み取れる「蛸」の心理を「生」という言葉を使って答えよ。


詩歌

サフラン ●新川和江

教科書 P.82 ~ P.83

詩の理解を深めよう

- 1 次の文は、この詩の内容をまとめたものである。空欄を本文中の語句で補え。
  - 「<sup>①</sup>」は、さびしい人からさびしさを引いた数だけひらく。<sup>②</sup>「<sup>①</sup>」は、高い梢<sup>えだ</sup>や「<sup>③</sup>」のとまるてころな枝もリボンをかけるための「<sup>④</sup>」<sup>⑤</sup>もないが、地にひくく咲くことで、「<sup>⑥</sup>」においでのお方を見つめることができる。
- 2 「サフラン」が象徴するものは何か。詩中の言葉から抜き出せ。


- 3 第二連に象徴されることは何か。五十五字以内で説明せよ。
- 4 「空の深みにおいでのお方」(83・5)とは何を表すか。二十字以内で具体的に答えよ。

- 5 「欠乏と不満」(81・13)とあるが、どういうことに対する「欠乏と不満」なのか。詩中の言葉を使って十五字以内で書け。


難

- 6 「地下の薄暗い……漂つてゐた」(80・1~2)「曇つた埃<sup>ほこり</sup>っぽい……が動いてゐた」(81・7~8)など、水槽の様子を表す描写は、どのような効果をもたらしているか。六十字程度で説明せよ。

入試

- 7 この詩では、どういうことが表現されているか。次の中から適切なものを一つ選び、記号で答えよ。
  - ア 自分の身体を食べてまで生きようとした蛸を通じて、懸命に生きることの重要性を表現している。
  - イ 恨みや悲しみが精魂となり人々の心に宿ることを、蛸を通じて表現している。
  - ウ 飢餓と忘却に苦しむことがいかに残酷かを、蛸を通じて表現している。
  - エ 精霊や幽霊のように精魂はそのまま存在し続けることを、蛸を通じて表現している。


難

- 5 第三連全体で、どういうことを表現しているか。八十字程度で説明せよ。


入試

- 6 この詩で作者は何をいおうとしているのか。次の中から適切なものを一つ選び、記号で答えよ。
  - ア 実を結ぶためにだけ咲く、サフランのさびしさから教訓を得るといふこと。
  - イ サフランとともにさびしさも花開き、そのことによって癒やされること。
  - ウ サフランが咲く姿を見ることで、さびしさを癒やしていくこと。
  - エ さびしさの代替物として咲くサフランがさびしさを緩和してくれること。

--

課題の意図を理解しよう

課題について解説した次の文章の空欄に、適切な語句を補え。

【課題一】

本文を読解する。その上で、筆者が考える「労働の」<sup>①</sup>「<sup>②</sup>とはどのようなものか、筆者がそれに言及している部分を読み取り、まとめる。

【課題二】

「<sup>②</sup>」と労働についてのどのようなことが話題になっているか、調べて発表する。

【課題三】

「<sup>③</sup>」<sup>④</sup>「<sup>⑤</sup>」についてのあなたの考えを「<sup>⑥</sup>」<sup>⑦</sup>字程度でまとめる。

課題一に答えよう

【一】本文の内容を読み取ろう。

1 「やりがいのある仕事」について、年長世代と若者世代はそれぞれどう考えているか。次の文章の空欄に適切な語句を入れてまとめよ。

(1) 年長世代……どこかで誰かの「<sup>①</sup>」<sup>②</sup>のこと。 「<sup>③</sup>」が自分ひとりであるような仕事。

2 次の文章は、若者たちの間に筆者が指摘するような「労働観」(134・下10)が生まれた理由をまとめたものである。空欄に入る適切な語句を、ア～カから選び、記号で答えよ。

若者たちは、受験勉強で、「<sup>①</sup>」<sup>②</sup>的な努力の成果は本人が100%占有する」という「<sup>③</sup>」主義になじんでいるが、実際の仕事の「<sup>④</sup>」<sup>⑤</sup>では、自分ひとりの努力も「<sup>⑥</sup>」<sup>⑦</sup>でシェアしなければならぬため、それが理解できない。また、若者たちはバイト経験によって「自分の仕事」として「<sup>⑧</sup>」<sup>⑨</sup>された以外の労働をする理由をもてないが、実際には「自分の仕事」の外にある仕事に介入することになり、しかもそれが成果として「<sup>⑩</sup>」<sup>⑪</sup>されない事実で困惑することになる。

- ア 規定 イ 評価 ウ 集団 エ 個人 オ 現場 カ 成果

3 「特異なメンタリティ」(136・下3)とはどのようなものか。次の空欄を本文中の語句を使って補え。個人の努力が個人だけに還元されることを求めず、できるだけ多くの「<sup>①</sup>」<sup>②</sup>に利益として「<sup>③</sup>」<sup>④</sup>されることを求めるようなメンタリティ。

語句の意味を確認しよう  
次の語の意味を答えよ。

① 排他

[ ]

② 互換

[ ]

課題二に答えよう

1 若者と労働について、社会で話題になっている事例には何があるか。箇条書きであげてみよう。

[ ]

【一】課題一に答えよう。

1 筆者が考える「労働の本質」とはどのようなものか、まとめてみよう。

[ ]

4 筆者が「そういうことは軽々に口にしないほうがいいと思う」(136・下10)のはなぜか。筆者の考えを説明した次の文章の空欄を、本文中の語句を使って補え。

「クリエイティヴ」であるためには人に抜きんでた「<sup>①</sup>」<sup>②</sup>が必要だが、みんなと同じような理由・仕方で集团的労働を忌避する人は個性的でない可能性が高い。また、自己決定・自己責任の原則から利益を得られるような「強者」は、すでに利益分配集団に属しており、そうでない人はスタート地点で大きな「<sup>③</sup>」<sup>④</sup>を負っている。そして、リスクをヘッジする集団に帰属していない人間は、「<sup>⑤</sup>」<sup>⑥</sup>で全てを失う可能性がある。

社会的な現象や問題について考えるときは、すぐに評価を下したり、対応策・解決策を打ち出したりするのはなく、「その現象・問題の原因や背景には何があるのか」を考えてみよう。それが、テーマを深く多角的に考えることにつながる。

取り上げた事例の問題点や今後の影響、さらに若者への提言や、問題解決・改善の方策などを考えてみよう。(2)であげた、「原因や背景」をふまえたうえで考えること。

筆者が「労働」や若者の「労働観」について述べていることをどう思ったか、賛成か反対か、別の見方はあるかなど、自分の考えを示してみよう。また、そう考える理由もあげてみよう。

「労働」について八〇〇字でまとめる前に、論述の中心となる考えを決めておく必要がある。「労働」について最も大切だと思うことをあげてみよう。

【一】の1・2で書いた内容がベースとなる。筆者の「労働」への意見には触れても触れなくてもかまわないが、触れる場合は自分の意見と区別して簡潔にまとめること。書きあげたら、自分の意見と理由がはっきり書いてあるかチェックしよう。

2 1であげた事例の中から一つを選び、調べてみよう。  
(1) 何について調べたか。

Blank box for student response to question 2.1.

(2) その事例の原因や背景にはどういものが考えられるか、まとめてみよう。

Blank box for student response to question 2.2.

(3) その事例についての自分の意見をまとめてみよう。

Blank box for student response to question 2.3.

課題三「答えよう」

【一】 課題に答える準備をしよう。

1 「労働」についての筆者の意見に対してどう思うか、自分の意見を記せ。

Blank box for student response to question 1.

2 ここまでで考えたことをふまえ、「労働」するうえで最も大切だと思うこととその理由をまとめてよ。

Blank box for student response to question 2.

【二】 課題に答えよう。

「労働」についてのあなたの考えを、八〇〇字程度でまとめてみよう。

評論

グローバリゼーションの光と影 ● 小熊英二

教科書 P.146~P.150

全体の構成を理解しよう

「グローバリゼーション」と「ナショナリズム」がどのような関係にあるのかに注意しながら、次の空欄を本文中の語句で補え。

グローバリゼーションとナショナリズムの共犯関係	グローバリゼーションはナショナリズムと「 <sup>①</sup> 」にあり、交通の発達や文化の均質化が「 <sup>②</sup> 」で起こるならナショナリズム、「 <sup>③</sup> 」を跨ぐならグローバリゼーションという違いがあるだけで、基盤はナショナリズムでもある。
グローバリゼーションとナショナリズムの補完関係	グローバリゼーションとナショナリズムは相互に高め合う「 <sup>④</sup> 」にあり、ナショナリズムの形成はグローバルな「 <sup>⑤</sup> 」により形成され、グローバリゼーションは「 <sup>⑥</sup> 」の存在を前提として成立している。
グローバリゼーションとナショナリズムの権力の問題	グローバリゼーションとナショナリズムの対立問題は、「 <sup>⑦</sup> 」から派生したものである。両者の最大の相違は、国家には「 <sup>⑧</sup> 」があるが、国家を超える「 <sup>⑨</sup> 」は存在しないという点である。しかし、権力の問題においても、グローバリゼーションと国家は「 <sup>⑩</sup> 」にあるということが問題である。
現実世界におけるグローバリゼーションとナショナリズム	グローバリゼーション対ナショナリズムという単純な「 <sup>⑩</sup> 」では動かず、両者が「 <sup>①</sup> 」として「 <sup>⑪</sup> 」している状況を把握しなければ、現実的な議論は進まない。

文章の理解を深めよう

① 「グローバリゼーション」と「ナショナリズム」が「共犯関係」(146・2)だと筆者が考えるのはなぜか。「基盤」「側面」という語を使って説明せよ。

--	--	--	--

② 「ナショナリズムの基盤でもある」(146・5)とあるが、「グローバリゼーション」の具体例が「ナショナリズムの基盤」であることがわかるようにまとめた次の表の①～④にあてはまる語句を、本文中から抜き出せ。

グローバリゼーション	ナショナリズム
交通・通信技術の発達	①
②	③
④	全国市場の成立

漢字・語句を確認しよう

【一】 次の漢字の読みを記せ。

- ① 均質 ( )      ② 補完 ( )
- ③ 模倣 ( )      ④ 港湾 ( )
- ⑤ 派生 ( )      ⑥ 為政者 ( )
- ⑦ 原資 ( )      ⑧ 不毛 ( )

【二】 次の傍線部を漢字に改めよ。

- ① 潜在能力がカクセイ ( )      ( ) する。
- ② 文化がコウリュウ ( )      ( ) する。
- ③ 事実にはソウイ ( )      ( ) ない。
- ④ 流派のセイトウ ( )      ( ) を伝える。
- ⑤ 権利をヨウゴ ( )      ( ) する。
- ⑥ 新勢力がタイトウ ( )      ( ) する。
- ⑦ 世の中のチヨウリュウ ( )      ( ) 。
- ⑧ 善悪がハイソン ( )      ( ) する。

【三】 次の語句の意味を答えよ。

- ① 補完 [ ]
- ② 草の根 [ ]
- ③ 原資 [ ]

③ 「同じ現象の別側面」(147・1)とはどういうことか。五十字以内で説明せよ。

--	--	--	--

④ 「両者は、相互に高め合う補完関係にある」(147・4)とあるが、明治期の日本における具体的な事例を次の表に合うように本文中から抜き出せ。

補完関係にある例	明治期の日本における例
グローバルな他者接触	①
グローバルな模倣関係	②
グローバリゼーションを加速	③



**【解答】**  
全体の構成を理解しよう

- ①明日の暮らし ②飢え死に ③盗人
- ④勇氣 ⑤激しい憎悪 ⑥自分の意志
- ⑦安らかな得意と満足 ⑧失望
- ⑨憎悪 ⑩冷ややかな侮蔑 ⑪夜の底

**漢字・語句を確認しよう**

- 【一】①かえり ②ほお ③ざんじ ④しようじゅ
- ⑤ぶべつ ⑥あざけ
- 【二】①衰微 ②余波 ③憂 ④無造作（無雑作）
- ⑤覆 ⑥挿 ⑦塞 ⑧蹴
- 【三】①どうしてよいかわからないで、困りきる。
- ②その程度だろうと安易に予想する。 ③言葉の使
- い方が適切でないために弊害が生じる。

**文章の理解を深めよう**

- ① ①(例)秋②(例)人気がないひっそりとした雰囲気
- ② イ
- ③ (例)行くあてもなく困っていた上に、雨という天候までも、この男の気を滅入らせる要因になっているということ。(五十文字)
- ④ (例)盗人になる勇氣が出ず、行動に移せないということ。(二十四文字)
- ⑤ 六分の恐怖と四分の好奇心(十二文字)
- ⑥ (例)下人が老婆の生死が自分の意志に支配されているということを認識したことで、老婆に対する意識が善悪ではなく支配・被支配へとすり替わったから。(六十八文字)
- ⑦ (例)許すべからざる悪の行為をしていた老婆をと

小説 予感

**【解答】**

全体の構成を理解しよう

- ①予感 ②ぶるぶる ③呼び出し音 ④覚悟
- ⑤不幸中の幸い ⑥証拠
- 【一】①ちんたい ②みちばた ③じっか
- ④ろしゅつ ⑤しきち
- 【二】①財布 ②蛇口 ③派遣 ④預金 ⑤印鑑
- 【三】①この世に二つとないただ一つしかないこと。
- ②思いがけず出会うこと。 ③痛手として強く感じる。 ④不幸や災難が訪れる。

**文章の理解を深めよう**

- ① (例)賃貸マンションの三〇三号室で持ち家ではないが、わたしにとっては唯一無二の家。(三十八字)
- ② (例)旅先で三度の置き引き被害にあうほど自分は不注意な人間だと思っているから。(三十六字)
- ③ 災難に慣れている「わたし」でも家がなくなることとは予想以上の衝撃だったこと(三十六字)
- ④ ウ
- ⑤ (例)活気ある畑ではなく枯れてさびれた畑を描くことで、更地となって何もないう畑や「わたし」の虚脱感を表している。(五十三字)
- ⑥ (例)実家も畑になってから誰も電話にでないのかもしれないと心配になったから。(三十七字)
- ⑦ まともな扱いはされないう畑や「わたし」の虚脱感を表している。(五十三字)
- ⑧ 地図
- ⑨ (例)家が消えたという現実をまだ受け入れられず

- らえ、懲らしめること。
- ⑧ (例)老婆の答えが非日常的なものであることを期待していた／下人の好奇心を満足させられなかった
- ⑨ (例)悪に対する悪は許される(十一文字)／しかたがなくする悪は許される(十四文字)
- ⑩ (例)盗人になる勇氣(七字)
- ⑪ (例)下人は天気さえ影響を受けてしまうような過敏に外的刺激を受けやすい性向であり、遭遇する事象に対して感情的・感情的に反応した思考をもった人物である。(七十二字)

**【解説】**

文章の理解を深めよう

- ② 仏像や仏具が元来どのようなものであるかを知りつつも平然と売買する者や、それを傍観する者の存在を浮上させることで、京都の町に住んでいる人々の心の荒廃に焦点を当てた記述となっている。
- ③ 「その上」の指す内容も解答に含まれているか注意する。
- ⑥・⑦ 力づくで老婆の存在を取り押さえ、老婆のおぞましい振る舞いを停止させたことにより、悪を懲らしめるという目的は達成された。その上、力によって対象を支配する立場となったため、必然的に「憎悪の心」は消失していく。下人の問題意識において、善悪という図式から支配・被支配という図式へとすり替わっていったのである。
- ⑧ 下人は、老婆の行為が下人に恐怖や憎悪の感情を起こさせたからには、その行為にはふさわしい

- 呆然としている様子。(三十文字)
- ⑩ (例)今後の生活を考える余裕は出てきたが、なすべがなく不安な気持ちでいる様子。(三十七字)
- ⑪ (例)地の文のように表現することで、「わたし」自身が思っている言葉のようになり、「わたし」の中に自然と入り込み共感していることをより強調している。(七十文字)
- ⑫ イ

**【解説】**

文章の理解を深めよう

- ③ 「不注意な自分」だからこそ「予感」があったことなので「驚くようなこと」ではないはずが、「家が消える」ことまでは考えていない。「わたし」の驚きをより強調させている。「道端に座り込んでぶるぶる震えていた」(37・8)からも「わたし」の驚きと不安が読み取れる。
- ⑤ 夏の「色の濃い野菜がふんだんになっている」(38・10) 生気に満ちた畑とは対照的なさびれた様子が描かれている。もともと「わたし」の住んでいた家があったはずなのに今は更地になってしまった空っぽな様子や予想以上のできごとが起こり困惑や恐怖、「道端に座り込」(37・8)も虚脱感をこの表現が言い換えている。
- ⑦ 「家が消えた」というバカげた話をきちんと聞いてはくれないだろうと思っっている。しかし実際は「警察官を一人派遣してくれる」(39・2)という丁寧な対応だった。
- ⑨ 「示されるがままに」(39・7) から、「わたし」はまだ家が消えてなくなつたという「現実」をのみ込めず、考えが定まっていない様子がわかる。

- 理由、つまり老婆の異常な答え・非日常的な答えがあると期待していた。しかし、老婆の「かつらにしようと思うた」(31・13)という答えには特異な内容はなく、下人の心の中にあつた好奇心を満足させられなかつたために、「失望」したのである。
- ⑨ 「ここにいる死人どもは、皆、そのくらいなことを、されてもいい人間ばかりだよ。」(32・3) 「そのしかたがないことを、よく知っていたこの女は、おおかたわしのすることも大目に見てくれるである。」(32・10) という老婆の発言を端的にまとめる。

**【解説】**

文章の理解を深めよう

- ⑪ 老婆に対する憎悪には根拠がなく、脈絡のない感情の揺れ動きが目立つ。悪に対して反感をもつたかと思えば、その後引剝をするなど、その場で感じたことを行動に移してしまう性格をもつ。羅生門の楼に上る前の下人の描写も参考にして、天気の影響を受けていることも解答に入りたい。
- ⑫ 語り手は「Sentimentalism」(24・11) というフランス語や「一分ごとに」(29・8) という時間の単位を用いたりすることから、近代の間であることがわかるのでイは不適。この時代・地域だけという特有の問題ではなく、我々の生きる現代にもこのような問題はあり、普遍的なテーマであることからウも不適。死骸が捨ててあるとわかつている羅生門の上で宿をとろうとする下人は、死骸に対する恐怖感が希薄な人物であるので、エも不適。

- ⑩ ホテルに入つてこれからのことを考える余裕が生まれていることが同じ段落の内容から読み取れる。しかし、次の段落以降で実家に電話をかけて「泣きながら」話す様子から、まだ現実を受け入れられず、今後どうしていいかわからないまま「かつて家が あつたと思われれる方角をしばし眺め」(39・16) ていることが読み取れる。

- ⑪ 「わたし」の言葉以外には「」（かぎかっこ）が用いられていることに着目する。設問の言葉は「わたし」の言葉ではなく、父と母とおばあちゃんの言葉にも関わらず「」がついていない。これは、この言葉が自分にとって納得のいく、共感できるものだとすることを主張しており、「わたし」が自分自身に言い聞かせているかのように「わたし」に響いた言葉だったのである。

- ⑫ 「大きな災難が起こったときにはまず、実家に電話しよう」と決めていた」(38・1) 「それまでに起こったありとあらゆる不運についても話した」(40・7) や、最後から三段落目にあるように「泣きながら」弱音を吐く部分から「わたし」にとって「実家」は素の自分が出せ、頼りになる存在であることが読み取れる。アの「どんな境遇にあつても」やウの「必ず助けてくれる」は、最後の父と母とおばあちゃんの言葉にあてはまらない。エのような内容は本文にない。

詩歌 死なない蝟

P8

【解答】 詩の理解を深めよう

- ① ①忘れ ②死んだ ③足
- ④内臓の一部 ⑤身体全体 ⑥欠乏と不満
- ⑦人の目に見えない

2 散文詩

③ 例蝟を普遍的なものとして表現するため。(十八字)

④ 例生への執着

⑤ 人人から忘れられたこと。(十二字)

⑥ 例さびしいが、美しく透明感を帯びた様子を表現することで、生に執着する蝟と対比され、幻想的で不思議な雰囲気を生み出している。(六十文字)

7 エ

【解説】

詩の理解を深めよう

- ② 「散文詩」とは、定型や韻律にとられず自由に書かれた詩で、普通の文章で書かれた詩をいう。
- ③ この詩のテーマである生への執着は、蝟だけでなくどの動物にもありうるものである。その普遍性を表現するために「動物」という語を用いたと思われる。このように、より大きくくりの語を用いたときには、普遍性を表現するためである場合が多いので、覚えておきたい。
- ④ 自分の体を食べるまでの蝟の「生」へのこだわり、強い思いが読み取れる。
- ⑤ 「だれも人人は、……」(80・3)と「忘れられた槽の中で、……」(80・7)の文を利用してま

める。

⑥ 「薄暗い」(80・1)、「青ざめた」(80・2)、「透き通った」(81・8)などの言葉がいかに幻想的で美しい。この、ほの暗く美しい地下の水槽の雰囲気は「死なない蝟」という強烈な印象をもった生への執念と対照的であり、それが混ざり合って独特の世界を表現している。

⑦ 古来、人間は、実体のない霊的なものを想像してきた。その中には、その場所にずっとどまっっているとされているものも少なくない。「そこに」と表現していることから、その場所にとどまることに意味をもたせていることにも注目する。アの「懸命に生きる」ことの重要性やウの「飢餓と忘却に苦しむこと」の「残酷」さを表現しているわけではないので誤り。イ精魂は「恨みや悲しみ」から生まれるわけでも「人々の心に宿る」わけでもないので誤り。

詩歌 サフラン

P9

【解答】 詩の理解を深めよう

- ① ①サフラン ②小鳥 ③ほどよい茎(茎)
- ④空の深み
- ⑤ さびしさ
- ③ 例目立つ場所で見目を浴びることもなく、仲間や友人などの親しい人もおらず、着飾りたくても着飾ることができないこと。(五十五字)
- ④ 例サフラン一りん一りんに光を当てる太陽(十

八字)

⑤ 例地に咲くサフランにもあますことなく光を当てるように、さびしさを抱えた人間だからこそ、明るい喜びをまっすぐに見つめ、それによって癒やされていくということを表現している。(八十三字)

⑥ エ

【解説】

詩の理解を深めよう

- ③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。
- ④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。
- ⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。
- ⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

【いま】 3 なぜ私たちは労働するのか P.10 P.13

課題の意図を理解しよう

- 【課題一】 ①本質
  - 【課題二】 ②若者
  - 【課題三】 ③労働 ④八〇〇
- 【語句の意味を確認しよう】
- ①自分の仲間以外のものをしりぞけて受け入れないこと。
  - ②互いに取りかえること。取りかえのきくこと。

課題一に答えよう

【一】 1 ①役に立っている仕事 ②受益者

【解説】 年長世代にとつての「やりがいのある仕事」については134ページ・上10～13行目に、若者世代については「やりがいのある仕事」については134ページ・下2～9行目に書かれている。

①エ ②カ ③オ ④ウ ⑤ア ⑥イ

【解説】 若者の間に生まれた「やりがい」がもたない労働観については、135ページ・上9行目～136ページ・上16行目の範囲に書かれている。その中から、「受験勉強」から得られる労働観、「バイト」から得られる労働観を読み取る。

3 ①他者 ②分配

【解説】 「特異なメンタリティ」については、136ページ・上18行目～136ページ・下4行目までに書かれている。

①個性 ②ハンディ ③失敗

【解説】 「そういうことは軽々に口にしないほうがいいと思う」(136・下10)理由は、そのあとの部分(136・下11～137・下2)に書かれている。

① 例・就業後数年で離職

・転職する若者の増加

・就職活動の長期化

・非正規雇用やフリーターの若者の増加

【解説】 「若者と労働」というテーマは、近年ニュースや新聞でも取り上げられやすいテーマだ。本文の中では「離職・転職」する若者の多さが取り上げられているが、そのほか話題になっている例としては、「就職難」や「ニートの増加」、「就職活動が大変であること」「若者の貧困問題」などが考えられる。

② (1) 例非正規雇用やフリーターの若者の増加

(2) 例経済不況によって雇用自体が縮小していることも大きな要因の一つであるが、不況によって終身雇用の絶対性が崩壊したことも、非正規雇用やフリーターが増えた要因の一つともいえる。(六十一文字)

(3) 例非正規雇用やフリーターの立場では生活が安定せず、長時間勤務や仕事の掛け持ちにつながって

しまう。自信や希望を失う人や、結婚や出産に踏み切れない人も多くなる。その状況を改善するには、企業が再び正社員雇用を増やせるよう税制改革や経済の仕組みの抜本的な見直しをする必要があるのではないかと思う。働く人の生活が安定して意欲や責任感につながれば、さらに経済も発展し、正規雇用も増えるのではないかと思う。(一九四字)

【解説】 取り上げた問題についての思考を深めるためには、(2)のようにその問題の原因や背景には何かあるかを考え、さらに、さまざまな立場からの見方や意見を想像してみると役に立つ。

例えば今回の「労働」というテーマの場合、学生やフリーターの立場で考えるだけでなく、非正規雇用者やアルバイトを雇う立場(企業や店)についても考えてみる。さらに、地方自治体・政府・経済界など、立場によって見方や意見が変わってくることも考えられる。自分の意見を述べるときに、どんな反対意見が出てくるか予想してみるのもよいだろう。そのうえで対処法や解決策を打ち出せれば、論述にも説得力が増すだろう。

課題二に答えよう

【一】 1 例筆者が言うように、私たちが労働するのは、「生き延びるため」という面もあるだろうが、それだけではないと思う。「生き延びるため」という理由だけで働いていると、苦しくなったときにすぐ「もっと別の道もあるはずだ」と思ってしまうのではなからうか。労働には「生き延びるため」以外にも自分の力を何かに生かす喜びや、仕事を達成する楽しさもあるはずだ。私はそういう喜びや楽しさを大切にしていきたい。(二八八字)

③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。

④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。

⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。

⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

【解説】 取り上げた問題についての思考を深めるためには、(2)のようにその問題の原因や背景には何かあるかを考え、さらに、さまざまな立場からの見方や意見を想像してみると役に立つ。

例えば今回の「労働」というテーマの場合、学生やフリーターの立場で考えるだけでなく、非正規雇用者やアルバイトを雇う立場(企業や店)についても考えてみる。さらに、地方自治体・政府・経済界など、立場によって見方や意見が変わってくることも考えられる。自分の意見を述べるときに、どんな反対意見が出てくるか予想してみるのもよいだろう。そのうえで対処法や解決策を打ち出せれば、論述にも説得力が増すだろう。

課題三に答えよう

【一】 1 例筆者が言うように、私たちが労働するのは、「生き延びるため」という面もあるだろうが、それだけではないと思う。「生き延びるため」という理由だけで働いていると、苦しくなったときにすぐ「もっと別の道もあるはずだ」と思ってしまうのではなからうか。労働には「生き延びるため」以外にも自分の力を何かに生かす喜びや、仕事を達成する楽しさもあるはずだ。私はそういう喜びや楽しさを大切にしていきたい。(二八八字)

③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。

④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。

⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。

⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

【解説】 取り上げた問題についての思考を深めるためには、(2)のようにその問題の原因や背景には何かあるかを考え、さらに、さまざまな立場からの見方や意見を想像してみると役に立つ。

例えば今回の「労働」というテーマの場合、学生やフリーターの立場で考えるだけでなく、非正規雇用者やアルバイトを雇う立場(企業や店)についても考えてみる。さらに、地方自治体・政府・経済界など、立場によって見方や意見が変わってくることも考えられる。自分の意見を述べるときに、どんな反対意見が出てくるか予想してみるのもよいだろう。そのうえで対処法や解決策を打ち出せれば、論述にも説得力が増すだろう。

③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。

④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。

⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。

⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

【いま】 3 なぜ私たちは労働するのか P.10 P.13

① 例・就業後数年で離職

・転職する若者の増加

・就職活動の長期化

・非正規雇用やフリーターの若者の増加

【解説】 「若者と労働」というテーマは、近年ニュースや新聞でも取り上げられやすいテーマだ。本文の中では「離職・転職」する若者の多さが取り上げられているが、そのほか話題になっている例としては、「就職難」や「ニートの増加」、「就職活動が大変であること」「若者の貧困問題」などが考えられる。

② (1) 例非正規雇用やフリーターの若者の増加

(2) 例経済不況によって雇用自体が縮小していることも大きな要因の一つであるが、不況によって終身雇用の絶対性が崩壊したことも、非正規雇用やフリーターが増えた要因の一つともいえる。(六十一文字)

(3) 例非正規雇用やフリーターの立場では生活が安定せず、長時間勤務や仕事の掛け持ちにつながって

しまう。自信や希望を失う人や、結婚や出産に踏み切れない人も多くなる。その状況を改善するには、企業が再び正社員雇用を増やせるよう税制改革や経済の仕組みの抜本的な見直しをする必要があるのではないかと思う。働く人の生活が安定して意欲や責任感につながれば、さらに経済も発展し、正規雇用も増えるのではないかと思う。(一九四字)

【解説】 取り上げた問題についての思考を深めるためには、(2)のようにその問題の原因や背景には何かあるかを考え、さらに、さまざまな立場からの見方や意見を想像してみると役に立つ。

例えば今回の「労働」というテーマの場合、学生やフリーターの立場で考えるだけでなく、非正規雇用者やアルバイトを雇う立場(企業や店)についても考えてみる。さらに、地方自治体・政府・経済界など、立場によって見方や意見が変わってくることも考えられる。自分の意見を述べるときに、どんな反対意見が出てくるか予想してみるのもよいだろう。そのうえで対処法や解決策を打ち出せれば、論述にも説得力が増すだろう。

③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。

④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。

⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。

⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

【解説】 取り上げた問題についての思考を深めるためには、(2)のようにその問題の原因や背景には何かあるかを考え、さらに、さまざまな立場からの見方や意見を想像してみると役に立つ。

例えば今回の「労働」というテーマの場合、学生やフリーターの立場で考えるだけでなく、非正規雇用者やアルバイトを雇う立場(企業や店)についても考えてみる。さらに、地方自治体・政府・経済界など、立場によって見方や意見が変わってくることも考えられる。自分の意見を述べるときに、どんな反対意見が出てくるか予想してみるのもよいだろう。そのうえで対処法や解決策を打ち出せれば、論述にも説得力が増すだろう。

③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。

④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。

⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。

⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

【解説】 取り上げた問題についての思考を深めるためには、(2)のようにその問題の原因や背景には何かあるかを考え、さらに、さまざまな立場からの見方や意見を想像してみると役に立つ。

例えば今回の「労働」というテーマの場合、学生やフリーターの立場で考えるだけでなく、非正規雇用者やアルバイトを雇う立場(企業や店)についても考えてみる。さらに、地方自治体・政府・経済界など、立場によって見方や意見が変わってくることも考えられる。自分の意見を述べるときに、どんな反対意見が出てくるか予想してみるのもよいだろう。そのうえで対処法や解決策を打ち出せれば、論述にも説得力が増すだろう。

③ 「高い梢」、「てごろな枝」、「ほどよい茎」がそれぞれ何を表しているのかを前の一文から一つ一つ読み取っていく。

④ 「空の深みにおいでのお方」(83・5)は「一りん一りん／ひかりのまなざしを注」(83・8)ぐという記述により、「太陽」と考えることができる。「神様のよさな存在」、「創造主」などの答えも考えられる。

⑤ 太陽とサフランの関係に象徴されることを答える。ここでは太陽は「希望や喜び」、サフランは「さびしさ」を表現していることも手がかりとする。「まばたきもせず／見つめることができる」(83・6)の内容も含めてまとめる。

⑥ 第四連に作者が最も言いたいことが述べられている。アは、「実を結ぶためにだけ」が誤り。「サフランと咲いて」は「サフランとなって咲いて」という意味なので、イは、「サフランとともに」が誤り。サフラン自体が「さびしさ」の象徴なので、ウは、「サフランが咲く姿を見ること」が誤り。

〔解説〕 筆者の「労働」についての考えをおさえ、それについての考えを書く。「賛成」「反対」「ある部分には賛成だが、別の部分には反対」など、どんな立場をとってもかまわない。ただ、「筆者のどの考えについての賛否なのか」をはっきりさせ、「なぜそう考えるのか」についても説明してみよう。

2 (例)労働に大切なのは、自分の力を何かに生かしている実感があることだ。なぜなら、自分の力を生かせなければ、やりがいや充実感もせず、仕事も長続きしないと思うからである。(八十一字)

〔解説〕 どんな意見をあげてもよいが、自分の意見には理由をつけることが必須である。

## 【二】「八〇〇字程度」

(例) 労働とは生きるための行為だが、同時に、自分の力を生かすことでやりがいと喜びを得る機会でもあると考える。筆者が言うように、労働は「生き延びるため」のものだが、毎日それだけを目的に働くことができるだろうか。仕事を続けていけば、仕事や会社への責任感、顧客を喜ばせるためにという気持ち、自分の仕事の質を高めることの喜びなども生まれてくるだろう。労働には、自分の力を何かに生かす喜びが伴ってほしいと思う。私は将来薬剤師になりたいと思っているが、それは自分の力を誰かの病気やけがを治すことに役立てたいと思うからだ。

筆者は、若者たちと上の世代では「やりがいのある労働」の捉え方が違うと述べていたが、そうとは限らないと思う。私は自分がアルバイトをするときも、誰かの役に立ちたい、何かの役に立ちたいという気持ちをもってしている。最近ではボランティアやN

## 評論

### グローバリゼーションの光と影

P.14  
P.17

## 【解答】

### 全体の構成を理解しよう

- ① 共犯関係
- ② 国境内
- ③ 国境
- ④ 補完関係
- ⑤ 模倣関係
- ⑥ 国家
- ⑦ 権力の配置
- ⑧ 主権
- ⑨ 権力
- ⑩ 二項対立
- ⑪ 並存

### 漢字・語句を確認しよう

- 【一】 ① きんしつ ② ほかん ③ もほう
- ④ こうわん ⑤ はせい ⑥ いせいしゃ ⑦ げんし
- ⑧ ふもう

## 【二】 ① 覚醒 ② 興隆 ③ 相違 ④ 正統 ⑤ 擁護

## ⑥ 台頭 ⑦ 潮流 ⑧ 並存

【三】 ① 不十分な部分を補って完全なものにする。こと。 ② 民衆ひとりひとり。 ③ 元となる資金。

### 文章の理解を深めよう

① (例) グローバリゼーションは、ナショナリズムの基盤でもあり、両者は同じ現象の別側面だと考えられるから。

② ① 藩を超えた交通の発達 ② 文化の均質化

③ 標準語の普及や地方文化の消滅 ④ 経済活動の領域拡大

③ (例) 国境内で起こる場合はナショナリズム、国境を跨いで起こる場合はグローバリゼーションと呼ばれること。(四十八字)

④ ① 黒船の来航 ② 国旗を制定し、国家を作り、文化財を保護(した) ③ 鉄道や港湾の整備、産業の育成、教育の普及

⑤ 国家によって設けられた段差を利用するため(二十字)

POという、営利を目的としない活動に参加する若者たちも数多くいる。それは、若者たちが、自分の力を発揮して誰かの役に立つことを願っているからだ。

若者の離職者や転職者の多さの原因は、若者の価値観・労働観だけにあるのではないと思う。近年、「ワーキングプア」と呼ばれる人々や、派遣切り、ネット難民などが話題になった。このような厳しい状況の中で、自分に向いた職業や会社を冷静に探すのは難しい。「とにかく正社員になりたい」と、自分に向いていない仕事に就き、結局適応できずに辞めていく人もいるだろう。

解決するのは簡単ではないが、自分の能力・適性と実際の職業の現場について見極める機会をもつことが必要だと思う。例えば小・中・高校のそれぞれの段階で、職業シミュレーションや職業実習などの体験をすることで、自分と社会とのギャップを埋めていけるのではないだろうか。そして就業してから、自分のもっている能力や適性を、労働の中で生かしているという実感をもつことができれば、「やりがい」や働く喜びを感じるにつながらるのではないだろうか。

(八二字)

〔解説〕 文章例では、「労働に大切なのは、自分の力を生かし、働く喜びを感じる」という意見を打ち出している。

第一段落で筆者の意見を取り上げつつ、筆者とは異なる「労働」への意見を述べている。第二段落・第三段落では、筆者とは違う観点から、「若者の労働観」や「離職者・転職者の多さ」について

述べている。第四段落ではよりよい労働につなげるための改善策・対策を述べている。

ここで求められているのは「労働」についての自分の考えなので、本文を読んで考えた「労働の本質」についてや、【課題二】で調べた「若者と労働」についての話題をもとに、自分の書きたいことをまとめることになる。まず、「労働」について何を書くか、自分のテーマを絞りこむ。「私は労働の『やりがい』を○○だと考える」「労働の本質」は○○にある」など、自分が書きたいのは「労働」の何についてかを整理してから書き始めることが大切である。

この【課題三】では、筆者の意見をふまえることは条件になっていないので、筆者の意見に触れなくてもかまわない。ただし、「なぜ私たちは労働するのか」で触れられている「若者」や「労働観」「やりがい」などについて述べるときは、筆者と同じ考えか、そうでないのか、自分の考えを明らかにすることが求められる。

社会的なテーマを扱うときは、できるだけニュースで知った事例や現実の社会で起きている例、自分の体験など、具体的な話を盛り込むようにする。そうしないと仮定の話や抽象的な話に終始して、現実味に乏しい文章になりがちなので注意が必要である。

をふまえ「同じ現象の別側面」だとしている。

⑥ 「国家には主権があるが、国家を超える権力は存在しない」(148.5) という「明確な相違」(148.7) により、「国家にしか存在しない権力」(148.9) に対して対立の問題が生じているのである。

⑨ 為政者のレベルでは、再分配の原資である国家経済の利益を生むためには国際競争力の強化をやらねばならないと考えられる。これは国家がグローバリゼーションを進めているということになり、「国家とグローバリゼーションは共犯関係にある」と置き換えられる。

⑫ 「光と影」を言い換えた言葉は他に「共犯関係」「同じ現象の別側面」「補完関係」がある。いずれも「コインの裏表」のようにお互いなくてはならないものであることをおさえる。本文ではグローバリゼーションとナショナリズムの関係を論じており、本文最後の一文からも「光と影」はグローバリゼーションとナショナリズムが「共犯関係として並存している」ことを端的に表していることがわかる。また「光と影」は相反する意味であることをふまえ、グローバリゼーションのもたらす「光と影」、つまり「メリット」と「デメリット」と捉えることもできる。

⑬ アは「グローバルな模倣関係」がナショナリズムを形成するので誤り。イは独自性を主張しているのはナショナリズムの特徴であり、グローバリゼーションの特徴ではないので誤り。エは国家にしかない権力の保持が重要ではなく、その権力の活用や正統性が問われているので誤り。

# 高等学校 国語総合【改訂版】指導書・教材類のご案内

 = データまたは音声でのご提供です。  = 冊子でのご提供です。

## 指導書

指導書		現代文編	古典編
セットで同梱	指導資料		
	発問例集		
	ワークシート (構成・内容理解、語句・漢字学習、古文品詞分解、漢文書き下し文、古典口語訳)		
	基本テスト		
	評価問題		
	実力問題		
	補充教材		
	教科書原文		
	朗読 CD		
	漢文エディタ	—	
	学習課題ノート		
教師用教科書			
本体価格(予価)	¥15,000	¥11,000	

※「発問例集」の内容は「指導資料」にも含まれています。

※「現代文編」「古典編」で別売になります。

## 指導書別売品

教師用教科書	 ¥3,000	 ¥3,000
--------	---	---

※指導書セットの「教師用教科書」と内容は同じです。

指導資料 PDF 版	 ¥5,000
------------	---

※指導書セットの「指導資料」の紙面を PDF ファイルにしたものです。

※「現代文編」「古典編」が一つになっています。

## 生徒用教材(採用品)

学習課題ノート	 ¥500	 ¥500
---------	---	---

## デジタルテキスト

指導者用デジタルテキスト		
学習者用デジタルテキスト		

※指導書・教材類は現在編集中のため、内容・仕様等については変更する場合があります。

※価格はいずれも本体価格(予価)です。

予価(本体500円+税)

## 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14  
☎03-3230-9411(編集)・9412(営業)

### 大阪支社

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3  
☎06-6341-2177

### 名古屋支社

〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43 瑞穂ビル 4F  
☎052-252-9211・9212

### 九州支社

〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1  
☎092-531-1531・1532

### 札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル 3F  
☎011-616-8722

三省堂版準拠

高等学校  
国語総合  
現代文編〔改訂版〕

# 学習課題ノート

ご採用  
見本  
ダイジェスト  
版

年 組 番 氏名